

公園に健康体操遊具を設置

(平成 30 年 4 月 1 日)

清和台地区コミュニティ推進協議会
地域分権特別委員会「公園の活用」分科会

清和台も徐々に高齢化社会を迎えるにあたり、幼児にも高齢者にも居心地の良い公園の確保は重要な課題と考えられます。年を重ねるにつれ足腰が弱くなりますが、これを少しでも克服するには、外に出て歩くことが一番です。幸い周回道路は良いウォーキング道路ですが、コンクリート製の舗道であり、土を踏みしめられる公園で軽い体操などが出来たら、さらに、健康増進に寄与するものと思われれます。我々は周回道路近くの中規模公園に、皆で楽しめる健康体操遊具を設置することを平成 27 年 4 月の総会で提案し、了承されました。

周回道路沿いにある公園(付表参照)のうち、東池、上大畑、ヒゼンコ公園はほぼ全体の設備が整っているため、候補から外し、設置に適したスペース、植え込みや園路の状況などを勘案して、北谷、中山、西駒谷、シヨガ平公園などの中規模公園に絞りました。さらに、遊具の品名・価格等についても、具体的に検討しました。

平成 28 年 2 月、公園緑地課は、市の公園長寿化計画に基づいて、シヨガ平公園のジャングルジム撤去跡地に、健康体操器具(CF-71310)を設置しました。また、平成 29 年 2 月、北谷公園に、同じ健康体操器具が設置されました。

残り 2 カ所の公園に、地域分権の交付金で、健康体操遊具を設置する提案は平成 29 年 4 月の総会で、了承されました。西駒谷公園に“背のばしベンチ”を設置する件については、購入予算が地域分権の交付金なので、コミュニティが 5 年度間責任をもって管理し、その後、市に寄贈するというので、公園緑地課との話し合いが成立しました。設置工事は本年 1 月中旬に終わりました(写真 1)。

一方、中山公園は 10 数年前にブランコが撤去されたままで、遊具が 2 台(砂場とすべり台)のみでした。平成 29 年 10 月に、公園緑地課から老朽化したすべり台が長寿化計画の対象となったとの連絡があり、代替遊具として、“パラレルハンガー”の設置を提案したところ、価格もほぼ同額なので、了承されました。設置は他の公園の更新設備工事と共に行われ、本年 3 月下旬に完了しました(写真 2)。

健康体操遊具は皆さんに使われて初めて価値が出てきます。汚したり、壊さない限り、どのような使い方をして、構いません。まず、慣れることが大切で、散歩がてら、公園によって、普段使わないところを刺激しましょう。

以上